

令和2年度学校評価報告書

1 本年度の重点目標

- ・基礎学力の定着を図り、自ら学ぶ意欲を育てる。
- ・自らを律する心を育て、礼節を重んずる生活習慣の確立を図る。
- ・自らを鍛え、健康で豊かな思いやりのある社会人の資質を育てる。

2 自己評価結果・学校関係者評価の結果の概要と今後の改善方針

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学校経営	・教職員の協働体制を高め、活力ある教育活動を推進するとともに、保護者や地域との連携を深めるよう努めた。 ・生徒一人ひとりの個性を大事にし生かすよう、生徒の活躍を積極的に発信するよう努めた。	・生徒が学校生活を楽しみ、目標をもって生活をしている様子がうかがえる。 ・生徒の活躍の様子が新聞や学校通信、ホームページ等で伝わってきている。
改善方策	・学校からの配布物が確実に保護者に届くよう工夫改善と継続的な指導に努める。 ・保護者や地域の学校理解を深めるため、積極的な情報発信に努める。また、中学校への情報発信や生徒間交流も積極的に行うよう努める。 ・ホームページの閲覧数増加に向け、細やかな更新と内容の充実を図る。	
教科指導	・授業改善研修を進めたが、よりいっそうの研修が必要である。 ・生徒の基礎的・基本的な学力の定着を図るため、放課後の学習の確保に努めた。	・資格取得に向けた講習や受験機会の確保については、今後も期待している。
改善方策	・主体的・対話的で深い学びの実現を目指した組織的な授業改善研修を今後も計画し継続して取り組む。 ・個に応じた指導体制の確立や授業を評価の一体化のために、評価における研修に努める。	
生徒指導	・生徒は落ち着いた学校生活を送っており、比較的身だしなみや挨拶もしっかりしているが、継続一貫した指導が必要である。 ・人間関係において悩みを抱える生徒へのより素早い相談体制づくりが必要である。 ・生徒会が主体となる活動が活発に行われている。生徒の満足度も高い。	・生徒の状況は大変落ち着いている。今後も継続した指導と生徒の安全確保に向けた指導を期待している。
改善方策	・担当、担任のみに任せることなく、教員全体でしっかりとした指導を継続する。 ・悩み事や相談事を抱えている生徒を素早くキャッチできる相談体制や情報共有の改善に努める。 ・学校の活性化を図るため、より一層の部活動や生徒会活動の充実に努める。	
進路指導	・生徒一人ひとりの適性と希望にあった進路指導体制づくりに努めた。 ・様々な進路先の開拓と進路情報の収集と細やかな発信が必要である。	・今後も全員進路決定の維持に努め、より充実発展した進路実現を期待している。
改善方策	・保護者と連携し、生徒の適性や発達段階に応じた系統的な進路指導の充実を図る。 ・進路だよりや進路説明会などで有効な進路情報の積極的な提供に努める。 ・公務員や進学対応に向けた講習体制など、方策の充実を図る。	